

産地を守るばれいしょ「コナユタカ」の導入と栽培法確立に向けた支援

概要 Abstract

種子ばれいしょ生産における小粒化技術として、植物成長調整剤（ジベレリン）処理の効果を確認。

大粒化しやすい「コナユタカ」の小粒種子生産体系を確立し、ジャガイモシストセンチュウ（Gr）抵抗性品種へ順調に切り替え。



ジベレリン処理

処理後の風乾

成果 Results

◆ジベレリン処理により

- 【いも数】 多くなる傾向
- 【1個重】 軽くなる傾向
- 【規格別収量】 M規格は高まる



種子ばれいしょの小粒化！



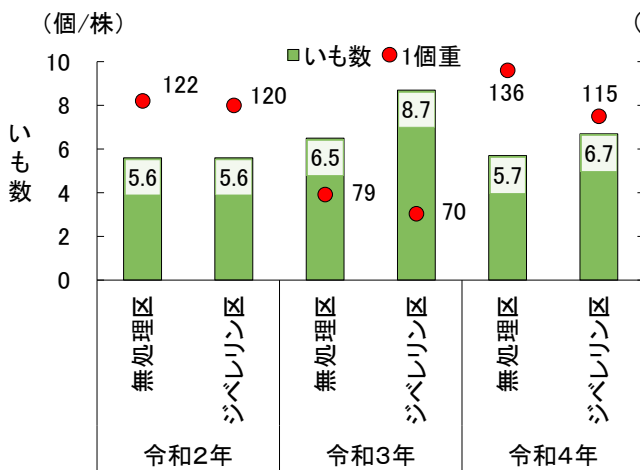
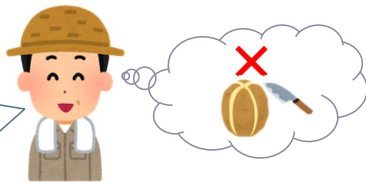
ジベレリン区 無処理区

ジベレリン区 無処理区

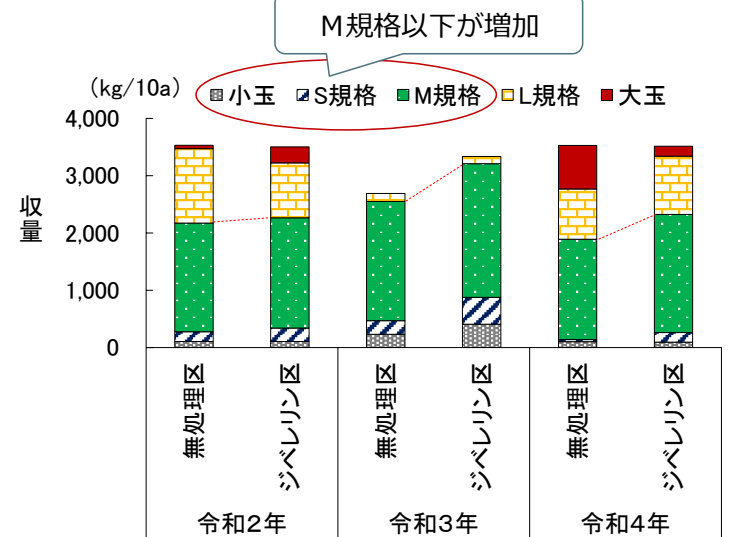
収量調査時の塊茎

生育期間中の地下部

種いもサイズが小さいと、手切りの手間が省けるね



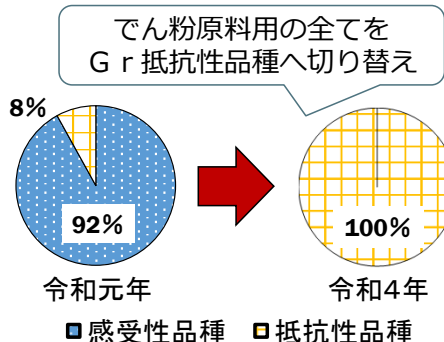
いも数および1個重の違い



規格別収量の違い

普及 Dissemination

ばれいしょの安定生産に向け、今後も品種特性に応じた栽培法を確立していく。



連絡先 Contact

オホーツク総合振興局
網走農業改良普及センター美幌支所
0152-73-5111
bihoro-nokai.11@pref.hokkaido.lg.jp